

# 全西総決起集会に決起せよ!

日時 11月19日(水) P.M. 6:00~

場所 扇町公園

全市大の戦美的学生、院生、教職員諸君! 今や11月末戦は、10月戦争から1か月もたっていない11月16日、東京扇町地区に於いて、激然に起られた。この日、日本プロレタリアートの戦士たちは、我々中核軍団と名頭に、16日、17日の連続戦争で巨大な成果を勝ちとり、今まさに飛躍的に前進しつつあることを確認せよ! この11月末戦は、日帝の米通政策=安保政策に対する全日本の全人民的な撃であると同時に、70年、70年代階級戦争への突破口でもあるのだ。そして他党派は何もできない手をこまねいているときに、最後の最後まで奮い抜いたのは、我々中核軍団のみであつた! もはや他党派は全て国家権力の手先である因による厚い壁の前には、いかにとてまてできなかったのだ。一方マルクス新聞によると、「足の安定期間がある」とな「もはや新左翼は戦術をダウンさせて街頭戦争から生産点にもどるだろう」と楽観視しているが、我々中核軍団は、70年代階級戦争を真正に担いこなすことができるのは、我々同盟より他にはないことを自己批判的に総括しているし、決して戦争を学園主義的あるいは、サークル主義的に矮小化することなく、日本プロレタリアートの最先頭に立って、徹底的に闘い抜くことを、ここに決意したい。軍事的な総括をすれば、国家権力マルクス主義の力は強大で我々同盟の正規軍をもってしても打ち破ることは困難であつたが、まさに、我々中核軍団が、70年代階級戦争における緊急情勢を作り出すにおいて大きな役割を果たしたことは一定の政治的勝利である。一方佐藤は、アメリカへ行くとはいえませんが、決して沖縄は全人民の手に返還されることはありえないし、日米安保条約の最再締結強化によって、全日本の階級対立がますます激化するのには必至である。そのことは、22日に発表される予定の日米共同声明によって明らかとなるであろう。佐藤の沖縄返還交渉の欺瞞性を徹底的に暴露し、佐藤の裏切り行為に対する全人民の怒りと、安保粉砕、沖縄奪還、日帝打倒の闘いへとぶちまけようぞ! 我々中核軍団は、彼等裏に行かれる佐ト=ニクソン会談と、日米共同声明をもってはびまる帝国主義侵略戦争の全アジア的拡大の前に屈するのな、それとも、我々中核軍団と革命左翼の全存在をきめて闘い抜くか、今こそ真に決断せよ!!

我々は、後進国植民地における革命と結合した形での日本帝国主義本国における反帝反スターリン主義世界革命の一環として行なわれる日本革命を断固遂行しなければならない!!

現在我々中核軍団は、壊滅的打撃を被っているが、この我々々作り得た70年代階級戦争の突破口とするこの成果を、まさに揚棄し、より新たなる軍団を組織するであろう。

我々は同志の屍をのりこえ、日本人民の体にはまわりつく汗と泥と敵の血を洗い流すまで、徹底的に闘い抜くことをここに宣言する!!

まさに人民が我々の屍を踏みこめて敵権力=マルクス主義に向かつて前進しようとしている時、我々は、決して死とも恐れない巨大な闘いを直ちに始めねばならない!!

—〈スローガン〉—

- 安保粉砕!
- 沖縄奪還!
- 日帝打倒!

—〈スケジュール〉—

糟谷同志虐殺抗議

11月19日(水) 全西総決起集会 於扇町公園 P.M. 6:00~

21日(金) 中核軍団結集 於京都

日本プロレタリア学生同盟中核師範部